

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

|No.1072| 2011 7
日本建築協会

■特集予告
8月号/鉄道駅に注目する
9月号/第58回青年技術者
10月号/建築と防災(仮称)

編集委員会(平成23年度)

■副会長 橋本 宗明
本多 友常
松村 孝治
▲編集担当理事 浅野 真一
上原 正行
佐藤 栄一
立成 栄一
三柴 利雄
吉井 寛
◎委員長 山本 隆太郎
▲副委員長 勝山 太郎
▲編集小委員会 計画分科会
▲計画分科会 飯田 匡彦
▲飯田 匡彦
▲鈴木 直人
▲中野 和也
▲高橋 昇平
▲松田 奈次
▲三宅 次郎
▲吉井 辰祐
▲建築設計 荒木 宏之
▲奥村 朋司
▲菅野 忠彰
▲野多 敦夫
▲楠 浩和
▲下坂 隆史
▲野田 加嶋
▲枇杷 織江
▲松山 剛史
▲米山 純一
▲海老原 浩平
▲小倉 一平
▲加藤 亮介
▲黒田 賢一郎
▲中井 史子
▲戸部 博史
▲ベリ 一博
▲岡田 智三
▲構造分科会 秋田 大平
▲石本 光平
▲岸本 淳一
▲小芝 好宣
▲志摩 宣夫
▲原野 耕一
▲角田 尚
▲難波 尚

▲宗明 健一
▲洋一 正治
▲宏修 勝也
▲大志 重利
▲幸二 直樹
▲周 貴廣
▲志 上幸三郎
▲和男 秀一
▲恒 敬史
▲一 聡
▲学 浩一
▲之 佳子
▲純 真弓
▲真 章夫
▲明 和江
▲博 雅章
▲仁 千子
▲一 純一
▲司 淳司
▲久 充久
▲人 佳佳
▲彦 晴彦
▲敬 敬紀
▲俊 調将
▲介 晃也
▲也 衛信
▲直 直樹

◎委員長 ○副委員長 ▲幹事

印刷 2011年6月25日
発行 2011年7月1日
発行人 社団法人日本建築協会
発行所 社団法人日本建築協会
大阪府中央区大手前1-7-31
電話 06-6946-6981
印刷所 柳NPCコーポレーション
定価 1200円(税込)

©「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

Journal of the Architectural Association of Japan

特集●建築と土

■総論	建築と土●藤森照信	22
■各論1	土の民家は守りのかたち●安藤邦廣	24
	一生焼きを入れる焼物人生—山川草木に触れながら— ●山田脩二	26
	人が生きていくところには必ず建築が存在する●久住有生	28
	新たな土の可能性●山下保博	30
■各論2	思い出のアイ・ベン・ハッドウ (Ksar Ait-Ben-Haddou) ●鈴木 恂	32
	客家土楼民居と生土建築の魅力●片山和俊	34
■編集後記		36

追悼文	わが友市川宏君の死を悼む●佐野正一	1
会告	総会議決のお知らせ。通常理事会議決のお知らせ。臨時理事会議決のお知らせ。評議員会議決のお知らせ。「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款」改正のお知らせ。平成22年度事業報告書。平成22年度決算報告書。平成23年度日本建築協会役員会務分掌・日本建築協会評議員・日本建築協会支部長	2
作品作風	学校法人 大阪電気通信大学寝屋川市駅前学舎 あべのキューズタウン 第六十二母屋 天理教河原町大教会信者詰所	10 12 16
研究の風景	青井哲人研究室●明治大学理工学部建築学科	18
gallery	京都祇園から発する●関井 徹	20
法令コーナー	「五條新町」重伝建地区と建基法緩和条例●上田井 朗	37
構造の頁	低騒音・低振動による耐震補強工法—3Qシリーズ— ●小林正和	38
再読	生駒ビルディング●酒井一光	39
関西近代建築		
関西の建築界	清水重敦●根木和人	43
群像		
新建材の頁	省資源型高耐食ステンレス鋼 JFE443CT (SUS443JI) ●JFEスチール	44
入賞発表	第10回読者と選ぶ「建築と社会」賞入賞 【論考部門】・白井晟一における石の「発見」/倉方俊輔 ・京都の近代和風建築の魅力—対龍山荘を中心—/中村昌生 【作品部門】・佐野記念病院/介護老人保健施設 栄公苑/ 岡田泰典・西田佳代	45
information	大阪歴史博物館開館10周年記念特別展「民都大阪の建築力」。 京都工芸繊維大学美術工芸資料館で同時開催。にっぽんの客船 タイムトリップ展。空想のきらめき〜シュルレアリスムとイメージ世界 〜。京都文化博物館リニューアルオープン。『日本美術にみる「橋」 ものがたり—天橋立から日本橋まで—』。フェルメールからのラブレ ター展京都展開催。「建築家のあかりコンペ」作品募集。「夏休み! 子ども絵画コンクール」。医療福祉建築賞2011募集!。建設リサイク ル法説明会(第1回)。塚脇淳展 Drawings+Maquettes	48
月間の動き	平成23年5月分	56

本文デザイン 高橋善丸

今月の表紙

作品:柳澤顕 表紙デザイン:灰田瑞穂 撮影:表恒匡 協力:アートコートギャラリー

untitled (tangled)

2011年/変形パネルにアクリル絵具/145.5×112cm

生命が環境と相互作用し、絡まることによって成立しているように、絵画においても外部の空間との絡まりを表現できないか。コンピュータ上で形態を膨張させ、レーザーカットによって円形をくり抜いた。形式が図像と連動し、実際の展示では壁画との絡まりとしてさらにその複雑な関係性を提示できたら、と考えている。
(柳澤 顕)